

2024年 第16週 4月15日～4月21日

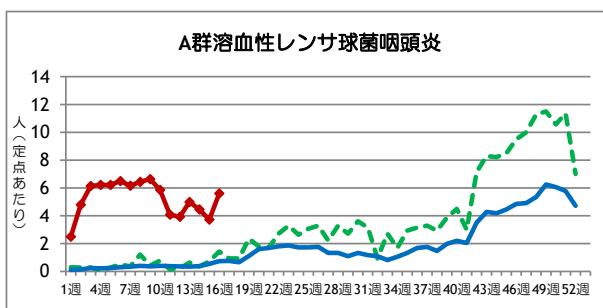
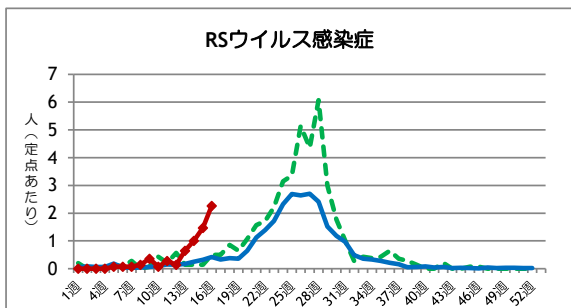
多摩小平保健所 感染症NEWS

注意してほしい感染症

- 先週に引き続き、乳幼児を中心に、RSウイルス感染症の報告が増加しています。
- 幼児～学童を中心に、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が増加しています。

手洗いや咳エチケットを実施しましょう。マスクの着用も有効です。

— 2023年東京都 — — 2023年圏域 — ◆ 2024年圏域 (数値は定点当りの患者数)



保健所からのお知らせ

RSウイルス感染症・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が増加しています

RSウイルス感染症

＜感染経路＞ **接触感染**と**飛沫感染**

＜症状＞発熱、鼻汁などの症状が数日続きます。初めて感染した場合は症状が重くなりやすいといわれており、乳幼児期、特に1才以下で初感染した場合は、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。

＜感染対策＞ **手洗い**、**咳エチケット**が有効です。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

＜感染経路＞ **接触感染**、**飛沫感染**

＜症状＞38℃以上の発熱、咽頭発赤、莓状の舌等があります。熱は3日から5日以内に下がり、1週間以内に症状は改善します。まれに重症化し、喉や舌、全身に発赤が広がる猩紅熱(しょうこうねつ)に移行することがあります。

＜感染対策＞ **手洗い**、**咳エチケット**が有効です。**マスクの着用**も効果的です。

＜治療＞抗菌薬での治療が必要です。主治医に指示された期間内服をしましょう。

新型コロナウイルス感染症に対する令和6年4月以降の対応について

相談窓口

- ・令和6年3月31日をもって、東京都新型コロナ相談センターは終了しました。
- ・厚生労働省の「新型コロナウイルス感染症電話相談窓口」では、令和6年9月30日まで、引き続き相談を受け付けています。

電話番号：0120-565-653 (9時～21時まで)

- ・医療機関の案内や救急の相談については、他の疾病と同様に、医療機関案内サービス「ひまわり」、東京消防庁救急相談センター(#7119)、子供の健康相談室(#8000)等にご連絡ください。